

Eat Well, Live Well.



2024年12月24日

味の素株式会社

地域共食とフードロス削減に取り組む味の素グループの活動

## 「アジパンダ食堂」



味の素グループで発生したフードロス対象商品など\*を活用

商品を子ども食堂に直接寄付するのではなく、「地域の方々が食べて応援する」という仕組みを構築

\*フードロス対象商品など・・・賞味期限内ではあるものの納品期限を過ぎた商品、外箱にへこみや傷があるものの品質に問題のない商品のほか、通常品を含む

### ■「アジパンダ食堂」の仕組み

味の素グループの活動「アジパンダ食堂」(以下、本活動)では、下記のような仕組みで取り組んでいます。

- 1.味の素グループがフードロス対象商品などを提携先に無償で提供
- 2.提携先は、カフェ、食堂、イベント物販スペースなどで、フードロス対象商品などを地域の生活者に直接販売し、得られた売り上げの一部を子ども食堂運営者に運営資金として寄付

※提携先と子ども食堂の運営者が同一であるケースもある。

## アジパンダ食堂の仕組み



### ■ アジパンダ食堂のユニークネス

本活動は、無償提供商品を利用したメニューや商品を、地域の皆様に購入していただき、その販売で得られた利益を子ども食堂の運営資金に活用する、他に類を見ない取り組みです。これにより、以下のメリットが期待できます。

1. 通常、フードバンクなどを通じて子ども食堂に寄付された食品を販売することは禁止されています。しかし、本活動では販売による換金が可能となり、子ども食堂の運営資金を持続的に確保することができます。
2. 本活動では、カフェや食堂、イベント物販ブースなどの提携先で、地域の皆様が普段から子ども食堂の運営を「食べて応援」することができます。これにより、子ども食堂への関心を喚起し、地域のつながりを創出することができます。
3. フードロス問題への関心を喚起することにもつながります。

### ■ 味の素グループにとっての本活動の意義

「人・社会・地球のWell-beingに貢献する」という味の素グループの志(パーパス)に直結する活動です。

#### ・共食の機会創出による地域コミュニティの活性化

商品を提供する味の素グループと、各地域の提携先、そして応援購入いただく地域の皆様が、一緒に地域コミュニティの共食の機会を増やし、活性化につなげることで、Well-Beingの向上に貢献する取り組みです。

※「調理の楽しさ」「共食」とWell-beingとの関係を示すグローバル調査

[https://www.ajinomoto.co.jp/company/jp/presscenter/press/detail/2023\\_12\\_01.html](https://www.ajinomoto.co.jp/company/jp/presscenter/press/detail/2023_12_01.html)

・新たなファン創出

提携先や子ども食堂で、若い世代の皆さんにも味の素グループの製品や活動を知っていただく取り組みです。

・フードロス削減

納品期限を過ぎた商品などフードロスとなる可能性ある商品も有効に活用し、新たな価値を生む取り組みです。

本活動は、味の素社(以下、当社)のA-STARTERS<sup>※1</sup>というプログラム(第3期)の一つとして2023年にスタートしました。活動の重要性が高まる中、2024年7月から活動をスケールアップすることとなり、当社の新たな人事制度TRY&A-CROSS<sup>※2</sup>により新たに6名のメンバーが加わりました。

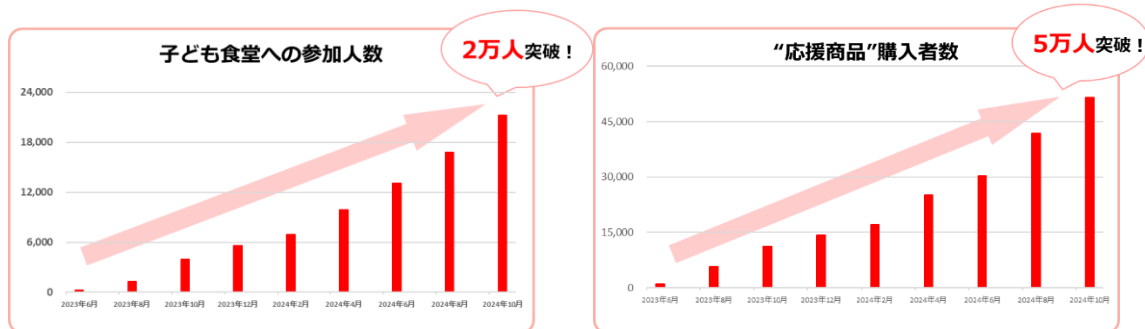
※1) 味の素社の全従業員を対象に、新規事業立ち上げを望む社員を公募・選抜し、新規ビジネスプランの事業化を推進する取り組み

※2) 当社グループの会社・所属部門の枠を超えて活動に社内副業のような形で、最大1年間取り組むメンバーを公募する新たな人事制度

### ■ アジパンダ食堂 実施データ(2024年10月末時点)

- ・提携先数 : 102カ所 (過去実施先を含む)
- ・アジパンダ食堂開催回数 : 360回以上
- ・アジパンダ食堂参加者数 : のべ2万人以上
- ・応援商品\*の購入者数 : のべ5万人以上

\*味の素グループから無償提供したフードロス対象商品など



### ■ 活動の様子

● **みんなこ(三重県 四日市市)**

プラトンホテル四日市が運営している四日市大学、四日市看護医療大学の学食で味の素冷凍食品社の「私が仕上げるハンバーグ デミグラスソース」(現在終売)を使用したハンバーグ定食を学食で提供。その販売で得られた利益を活用して子ども食堂を開催していただきました。



学生の皆さんにも販売のお手伝いをさせていただきました！

● **DeNA川崎ブレイブサンダース(神奈川県川崎市)**

当社の「鍋キューブ®」、味の素AGF社の「カフェラトリー®」をホームアリーナで販売。その利益を活用して子ども食堂を開催しました。川崎ブレイブサンダース益子選手にも参加していただき、アジパンダ食堂について利用者にご説明いただきました。



川崎ブレイブサンダースの益子選手も参加！（写真中・右）

- **サンデーフォークプロモーション(愛知県名古屋市)**

名古屋市の中日ホールで開催されたDRUM TAOさんのライブの物販ブースで、味の素AGF社の「ちょっと贅沢な珈琲店®」「カフェラトリー®」などを販売し、その利益の全額を10カ所以上の子ども食堂に運営資金として寄付していただきました。



ライブでの物販ブースと子ども食堂のメニュー

- **小郡みんな食堂(山口県山口市)**

子ども食堂を利用している子どもたち自ら、当社の「鍋キューブ®」、味の素AGF社の「カフェラトリー®」を地域の夏祭りで販売。運営資金を集める体験をしていただくことができました。



## ■ 今後の予定

2024年10月末時点で360回以上の子ども食堂開催実績を達成。活動を開始した2023年からの累計で、2万人以上の皆様に子ども食堂を利用していただきました。今後も引き続き地域共食の場への持続的な支援を行っていくとともに、同業他社も参画が可能となるプラットフォーム化を進め、社会へインパクトを創出する取り組みとして発展させていきます。

## ■アジパンダ食堂network



## ■アジパンダ食堂Instagram #ajipanda\_shokudo

[https://www.instagram.com/ajipanda\\_shokudo/](https://www.instagram.com/ajipanda_shokudo/)

報道関係者からの取材ご依頼等お問い合わせ先：[Pr\\_media](mailto:Pr_media)